

# ピンクのジュウタン 願い込め

生活環境部会

## 夕見公園



一株ずつ大切に。シバザクラの苗を植える中学生ら

三国中から8クラブの部員、3年生2学級の生徒ら100人と黒川校長、顧問の先生、子どもつれの先生らが集合、今年も大きな力

### 来春には一面にきれいな花「楽しみ」

今年13年目を迎えた夕見公園のシバザクラ植栽が11月5日（土）に行われ、まち協メンバーとボランティアの計130人が参加しました

三国中から8クラブの部員、3年生2学級の生徒ら100人と黒川校長、顧問の先生、子どもつれの先生らが集合、今年も大きな力を

### 防草シートの穴開け 効果激減

作業中に参加者から、「防草シートには穴を開けないのですか?」と問われ、「雑草を抑えるためのシートに多数の穴を

開けてしまうと台無しになります。切り取らずに10センチの逆丁字切りの間に植え付けて雑草が生えないようにしています」と答えました。

生活環境部会では、花付きの悪くなったシバザクラを再生しようと「挿し芽」や「株分け」にも挑戦し、現在約1,800株を育てています。来春には夕見公園に定植する計画です。

## 環境を守る大切さ学ぶ

私たちが住む三国、「環境の現実を知ろう」をテーマにした講演会が11月13日、三国コミセンで開かれました。

講師は「エコネイチャーさかい」の坂本周一氏。カラスが異常に増えていることやソーラーパネルが多くなっていることなど近年の環境の変化について説明。特に中国では奇形の動物が増えていることを強調するとともに、カラス対策では生ごみを放置しない心構えの大切さを訴えていました。



メギスをおいしく。参加者は熱心に料理のノウハウを習得しました。

### 三国の味を楽しもう！

10月28日（金）

### つぐやき

三国ならではの食材を使い、そのレシピを学ぶ「三国の味を楽しもう！」が昨年に引き続き今年も開かれました。

今年の食材は今年が旬のメギス。海の近くに住んでいながら魚が上手に捌けない私...というのも父が魚捌きが上手で、今まで自分でする必要もなく過ごしてきました。今回、メギスの手開きを教えていただいて、慣れない私は悪戦苦闘。魚の身をほろほろにし、みなさんから励ましてもらいながらやっと数匹。やればできる!とうれしくなりましたが、すでに記憶が薄れています。家でもやります!なるべく...近いうちに(語尾小さめ) (希)

## 中学生ら協力シバザクラ植栽



単入を押し避難

防災III教室



37人が難コースに挑戦

トリスクワトロのピン



まちなかじゆひ

魔法の地図



PLUS

みんなのくふうでにぎやかに...  
楽しく一緒にまちづくり  
みくいの魅力をプラス!!

まち協だより65号 発行 22.11.25

### シバザクラ植栽

たぐさんの中学生がお手伝い

編集 みくに地区まちづくり協議会  
事務局 三国コミュニティセンター内  
坂井市三国神明1丁目4-20 ☎82-6400  
mikuni-k@m3.fctv.ne.jp



# 秋晴れ…ディスクゴルフに爽やかな汗



ゲームを楽しみ笑顔の参加者

## 37人が熱戦

「ディスクゴルフのつどい」が10月30日、三国海浜自然公園で開かれました。この日は穏やかな晴天に恵まれ、日本海から爽やかな潮風が吹く絶好のコンディション。参加した親子連れら37人は4人1組で9グループに分かれ、9ホール、27投で熱戦を繰り広げました。

なだらかな斜面に、所々大きな松の木などの障害物がある難コース。参加者は悪戦苦闘しながらも和気あいあいとゲームを楽しんでいました。

なお、この公園では、来年5月「ワールドマスターズゲームズ2023」が開かれます。

世界中から一流のプレーヤーが勢揃いします。皆さん、応援にいきましょう。



みくに大好き部会  
ハッピーハロウィン  
魔法の地図



第14回ハッピーハロウィン魔法の地図が10月15日、三国北三国南小の児童約200人が参加して開かれました。



# 仮装っ子 まち歩き



子どもは髪をピンクにしたり、アニメのキャラクター、動物の着ぐるみなどいろいろな仮装で参加。親子や友だち同士で地図を片手に32カ所に掲示してあるクイズに挑戦。答えを覚えてゴールでは、お菓子がプレゼントされました。



中学生ボランティアも仮装

参加者の声・いろいろなクイズをといて、三国のまちに少し、くわしくなりました。町の人がみんな優しく、おしゃべりしてくれて楽しかったです。

## 3の部上八町・下町散策

知らない路地めぐり「3の部」が11月3日に行われました。上八町通りなどかつて商店街として繁栄した通り、開明楼跡などを参加者20人が散策。三国の歴史の一端に触れていました。また、10月23日には歴史散策「4の部」アンコールも実施、高校生13人が参加しました。



## 三国の歴史を再認識

名勝庭園・国宝重要文化財、瀧谷寺の散策が11月12日に行われました。近くでも行く機会が少ない旧跡を見直そうというもので、36人が参加。貝谷住職から寺宝の説明がありました。初めて目にする参加者も多く、地域の誇る宝を再認識していました。



## 瀧谷寺を散策

## 防災ミニ教室



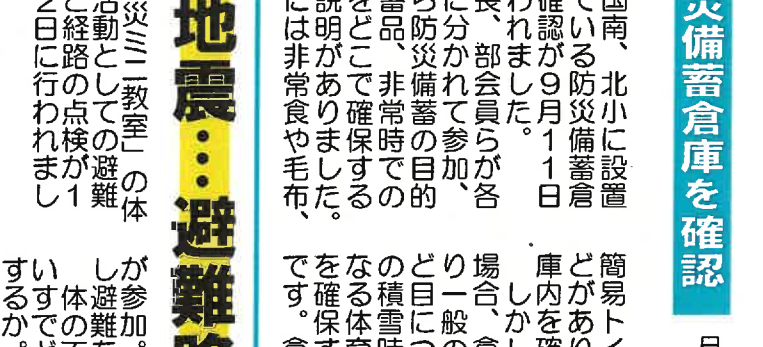
車イスを引き避難所へ



地図に危険箇所を記入

「防災ミニ教室」の体験型活動としての避難訓練と経路の点検が10月2日に行われました。三国南、三国北小の2コースに分かれ各20人、車イスを引く避難所へ地図に危険箇所を記入

## 防災備蓄倉庫を確認



三国南、北小に設置されている防災備蓄倉庫の確認が9月11日に行われました。各校区長、部会長らが各校下に分かれて参加、市から防災備蓄の目的や備蓄品、非常時の水源をどこで確保するかの説明がありました。倉庫には非常食や毛布、簡易トイレ、発電機などがあり、参加者は倉庫内を確認しました。しかし、三国南小の場合、倉庫が裏手にあり一般の人にはほとんど目につきません。冬の積雪時には避難所となる体育館までの通路を確保するだけで大変です。倉庫の存在が誰にも知られていない



北小学校の備蓄倉庫確認

順位	学校	表彰状
1位	三国南小	表彰状
2位	三国北小	表彰状
3位	三国南小	表彰状
4位	三国北小	表彰状
5位	三国南小	表彰状

## 防災ミニ教室が優秀賞



表彰状を受ける  
谷口部会長

本年度のわが町の防災コンテスト（ふくいの防災を考える会主催）でみくに地区まち協の「防災ミニ教室」が優秀賞に輝きました。表彰式は10月30日、福井新聞社で開かれ、防災安心部会の谷口部会長に表彰状と副賞が授与されました。福井ケーブルテレビでも活動状況が紹介されました。

■辻子 裕二審査委員長（福井高専教授）の講評（抜粋）  
有識者と連携しながら座学だけでなく、実践体験も組み入れるなど実効性に重きを置き、防災の裾野の広がりも期待され「人間は忘れる」ことを念頭に繰り返し勉強する姿勢に、地域を守る粘り強い意志を読み取ることができる。 福井新聞（11月6日付け掲載）